



# 営農ウィークリーNEWS

## ふあいとエース2号 (仮称) 試験開始!



10月10日、経済部営農販売課では、全農京都府本部生産資材部肥料農薬課と新たなBB肥料を設計し、各種秋冬野菜で効果を確認する試験を開始しました。

平成26年に全農京都府本部と協力し、生産資材コストの低減を目的にBB肥料の取扱を始めました。

BB肥料は、Bulk (バルク、粒状のバラ) と Blending (ブレンディング、配合) の頭文字をとって名づけられた肥料のことで、2

種類以上の粒状肥料原料を化学反応を伴わずに物理的に混合したものです。

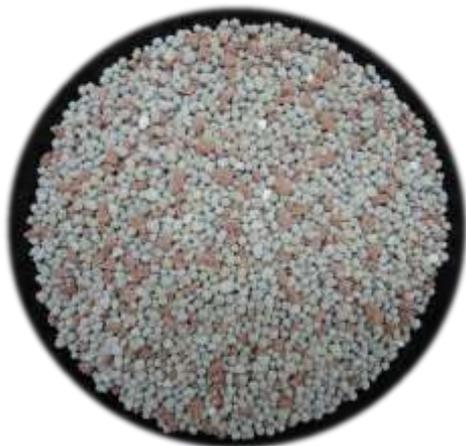
肥料製造の過程で、造粒・乾燥・篩別の行程がなくなるため製造コストが大幅に抑えられ低コストを実現しています。

今回、経済部営農販売課技術顧問の荒木俊光氏の設計により、新たに有効成分を改定し、秋冬野菜にマッチングする第2号となるBB肥料の販売に向け、現地試験を行います。

現行の「ふあいとエース」も年間を通じて葉菜類から果菜、根菜類まで幅広く使えるものとなっていますが、京都特有の

底冷えが厳しい冬期に効果を発揮するように硝酸態窒素含有率を増量し、リン酸を抑制した低コストのBB肥料となります。「ふあいとエース」同様、硝酸化成抑制剤入りです。

今後、秋冬野菜で効果を確認し、平成30年の夏に販売を予定しています。



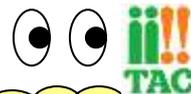
現行品

**18-10-14-0.1-0.2**  
(Nうち、硝酸態窒素5.4%)

試作品

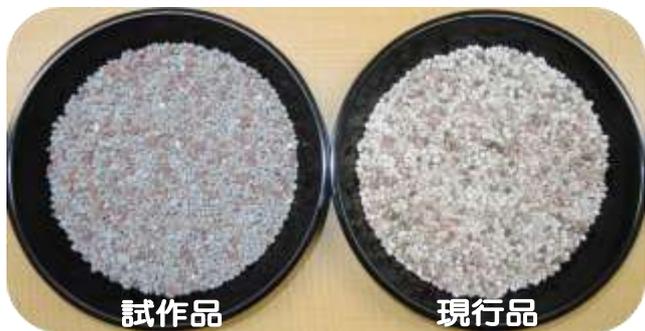
**19-6-14-0.1-0.2**  
(Nうち、硝酸態窒素8.0%)

-TAC information-



### 根こぶ病 被害

アブラナ科野菜に発生する「根こぶ病」。連作で被害が大きくなる厄介な病気です。こうなったら、鋤き込まず、圃場外へ持ち出し処理してください!



試作品

現行品

# JA 平成29年産米



## 集荷特別対策を実施中!



JA京都中央では、29年産米買入価格にJA独自の「**特別集荷対策費**」を盛り込み集荷数量の拡大に取り組みます。

27年産米より生産者価格を提示する仕組みが大きく変更されたことや、農家所得の増大を目指し、生産農家を支援するため、昨年に引き続き特別に助成することとなりました。

「**買取米穀**」の取り組み6年目の集荷となる29年産米は、420トンの集荷を見込んでおります。

組合員様で、契約のない方でも出荷可能ですので、最寄の支店又は経済センターまで、お気軽にご相談ください。

**契約者の方は、随時、追加出荷を受付しています。**

産米は、JAへ出荷を  
お願い申し上げます。

